

(98号)

中国シルク情勢(2018年11月)

日 絹 連

中国商務部は10月15日に、アメリカ税関2018年1~8月シルク輸出輸入統計をネットで公表した。2018年8月アメリカとのシルク貿易は、3.99億ドルで、7月より2.01%減少、昨年同期比1.75%増加した。その中で輸入額が3.47億ドル、7月より3.16%減少したが、昨年同期比4.37%増加した。具体的には、シルク原料の輸入は10.68トンで、67.62万ドルとなり、数量が7月より33.25%増加し、金額も35.39%増加した。絹織物輸入について、金額2,815.4万ドルで、7月より2.21%増加、昨年同期比2.93%増加した。輸入先について、原料は中国から24,662キロで、全体の25.81%を占め、昨年より28.9%増加した。インドから16,217キロで、全体の16.97%を占め、昨年同期比25.54%増加した。日本は3,304キロで全体の3.46%を占め、昨年同期比17.09%減少した。

また、日本財務省の統計によると今年8月のシルク輸入について、貿易額1.66億ドルで昨年同期比2.81%増加した。その中で輸入1.5億ドル、昨年同期比3.48%増加した。輸入の中で原料は124.74トンで、昨年同期比30.08%減少、金額も712.08万ドルで昨年同期比25.77%減少した。輸入織物は、金額929.08万ドルで、昨年同期比12.79%減少した。<http://www.esilk.net/web/view.aspx?AID=129457>

10月26日の金繭ネット報道によると、江蘇省の富安県は今年最後の晩秋繭買取が始まった。数量は昨年並みで、価格は38~43元/kgで昨年より30~35%下がった。一部の繭の品質があまり良くなかった。

10月の生糸繭取引所の相場について、中国国慶節の連休が約1週間(10月1日~7日)のため、9月30日の日曜日も取引された。2019年3月25日渡しは、1,700元値下げで、40.47万元/トンとなり、2019年9月25日渡しは1,200元値上げで41.47元/トンとなった。連休明けてから米中貿易戦争の心理影響も含め、国内生糸在庫の影響などにより、2018年10月25日渡し1日で価格が5,100元値下げで39.33万元/トンとなり、1年ぶりに39万台に戻った。先物2019年3月25日渡しも1日で6,300元に下げ、39.54万元/トンとなった。更に11月3日の相場では、広州交易会から成約が少ないという情勢から、また産地も晩秋繭収穫のため資金調達などの原因で再び値下げとなり、2018年11月25日渡しは3,600元値下げで37.14万元/トンとなり2019年9月25日渡しも3,000元値下げで37.47万元/トンとなった。

場外の現物取引については、取引所のような相場乱動はないが、先月より少しずつ値下げもあった。5A以上の経糸が51~52万元/トンから47~49万元/トンとなり、(USD67-68/kg)3~4Aの緯糸も44~46万元/トンから41~43万元/トン(56~57ドル/トン)となった。前年度の繭生産平均コストから見ると全て製糸企業が赤字経営となっていると思われる。昨年のような中国国内のシルク需要膨大がどこへ行っているか疑問の声と共に、米中貿易戦争への懸念も残っている中国シルク業界を注目していかないといけない。

以上